

なべしま新聞

アイファーストメンバー紹介

2004年8月号
16

なべしま新聞/第17号
発行責任者: 鍋島一博
株式会社アイファースト
〒259-0301 神奈川県
足柄下郡湯河原町中央
2丁目18番地26
電話 (0465) 60-4455
FAX (0465) 60-4466



松原 鍋島 川瀬 荒井

人に恵まれるということはありがたいことです。

私もアイファーストは、平成十六年三月、せいしん(西相信金)の元職員仲間が心と力を合わせて創業しました。営業メンバーは、鍋島一博、川瀬広泰、松原秀夫、荒井正太郎の四人です。他に、三人の女性スタッフがおります。女性スタッフのご紹介は、後に譲るとして、お客様に直接お会いする営業メンバーをご紹介します。

人生経験の長い、エピソード豊かな松原秀夫から紹介します。趣味は社交ダンスです。ラテンダンス部門において静岡県ナンバードンの実力です。過去三回もチャンピオンに輝いています。

先日六月六日開催の沼津大会でも優勝しました。彼の姿勢が良いのも長年にわたるダンスの陰です。

松原は家に小次郎という雑種犬を飼っています。ペットは飼い主に似ると言われますが、小次郎は松原の分身ではないかと思うほど、瓜二つです。私たちが家に行くといつまでも吠えるので、時々ひっぱたいてやります。

松原とおきの出来事は、二十数年前に遡ります。クリスマススイプの日、私、鍋島と飲みに行った時のことです。私たちはしこたま飲み、松原は両手に子供たちへのクリスマスプレゼントと自らの新しく買ったスーツを抱えて小田原駅から電車に乗り込みました。私は湯河原で降りたのですが、松原は函南に住まいがありますので、そのまま別れました。その後、彼は酒の酔いが手



アイファースト事務所・ヤオハン前を幕山公園通りに向かって行きます。

伝って不覚にも眠ってしまったのです。ふと気付いた時は乗り過ぎしていました。思わず上りに乗らなくては、と飛び乗ったのが北海道函館行きの貨物列車でした。客車のない貨物、手すりにつかまって振り落とされないようにしましたが、耳も千切ればかりの寒さ、それでも松原はクリスマスプレゼントとスーツを片手にしっかりと握っていたのです。気付いた時、貨物列車は大磯の先まで走り抜け、真夜中のことでの駅にも人影は見当たらず、このまま函館まで行く覚悟を決めたそうです。

ある駅で駅員を見つけ、必死で手を振り助けを求め気付いてもらいました。ようやく貨物列車は止まり、降りることができたのです。当然、駅長からコンコンと説教されました。

「年に何回かはあなたのような酔っ払いが貨物列車に飛び乗り振り落とされることがある、あなたは運が良い、生まれ変わったと思って、しっかりやりなさい」と諭したとのこと。

帰るすべもなく駅長室で仮眠を取り早朝帰ったのですが、数日後、数万円の車両停車料(迷惑料)が請求されて来ました。その請求額は当時の大卒初任給一か月分の給料程でした。

その時から松原は、生まれ変わったつもりで、お客様に役立つ営業マンとしてがんばろうと決意したそうです。

その他メンバーの詳しい紹介は次回に譲るとして、簡単な紹介をします。

鍋島一博：あつあげ、スーパードライが滅法好きな五十才です。川瀬広泰：コーギー犬を飼う心優しいお父さん。四十才。

一人息子と奥さんがなにより大切です。荒井正太郎：歴史小説が好きな笑顔が自慢の二十七才です。



アイファースト事務所内部
ぜひ気軽にお立ち寄りください。

伝統の技を守る

「左官技術の伝承」



左官技術の伝承と継承を目指す！
(南)長田左官工業様ぎやらりー左官完成
◇湯河原町土肥2-4-15
★電話0465-62-3931

にも悪影響がはじめていられると言われています。

その昔、日本住宅の壁といえば土の壁が当たり前でした。左官工法には、大津磨き壁、漆喰塗り等、多くの技術があるそうです。磨きと言う高等技術には、壁の完璧な仕上げになると鏡のような光沢を持ち、水に濡れてもびくともしないそうです。しかし、コンクリートや化学材料が普及していく中で土壁は伝統的な日本建築でしか見られない遠い存在になりつつあります。そんな土による自然壁が今また見直されつつあるので



コテ絵・雲中供養菩薩像
平等院鳳凰堂(北25番)より撮像

土の持つ温かさ、素朴さ、安全性は、日本の風土と歴史が培って来たものだからなのです。

(風土と呼ぶものは、ある土地の気候、気象、地質、地味、地形、景観などの総称である。―倫理学者 和辻哲郎―)

ぜひ一度、【ぎやらりー左官】を見学にいらせてはいかがでしょうか。

私たち日本人が大切にしてきた住まいの原点と長田さんの志が垣間見えることでしょう。



茶室・竹小下地 土壁上まで
工程が展示しています。

近年「シックハウス」という言葉を耳にすることがあります。建築効率を優先するあまり、水の代わりに合成樹脂を混ぜ、早く、安く、均一にという現代工法が、住まいの中を合成化学物質で塗り固めたのです。そこから発せられる揮発性の有毒ガスにより住む人の健康が害され、遺伝子



ギリシャ彫刻のような
円柱、職人技が光ります。